



かげはし

じょうえつ市議会だより

1月1日に発生した令和6年能登半島地震で被災された皆様へ、心よりお見舞いを申し上げます。

市議会では、行政と連携し一日も早い復旧に向け、支援に努めてまいります。

上越市議会

市議会ってどんなところ？

小・中学生の皆さんに、市議会の仕組みや、議員の仕事などについて知ってもらうため、議会学習を開催しています。
令和5年度は、14校の約400人の児童・生徒の皆さんから参加いただきました。

議会の傍聴

本会議開会中に、議場の傍聴席から議員と市長等との真剣なやり取りを見学します。



思ったよりも身近なことを話し合っていて、親しみを感じた！



真剣な雰囲気！

市議会の流れの学習・議員への質問タイム

議会の仕組みや、議員がどうやって話し合いを進めているのかなど、スライドを使って学習します。



どうして議員になろうと思ったんですか？

たくさんの仕事を委員会で分担するのは学校と一緒にだね！



議会のない日は何をしていますか？

議員を目指した理由や、日頃どんな仕事をしているかなど、子どもたちの疑問に議員が答えます。

令和5年度 議会学習実施校

- 保倉小6年生
- 直江津小6年生
- 大和小6年生
- 清里小6年生
- 清里中3年生
- 黒田小6年生
- 三和中3年生
- 高志小6年生
- 国府小6年生
- 諏訪小5・6年生
- 八千浦小6年生
- 上杉小5・6年生
- 潮陵中3年生
- 直江津南小6年生

(実施日順、開催予定を含む)

事後学習

希望する学校には議員が学校に出向き、直接質問に答えます。

議員の仕事は大変そうだけど、やりがいのある仕事だとわかりました！



議長室には交流のあるまちからいただいた品が飾られていたよ！



委員会室は、赤いじゅうたんが印象的！



議会にも図書室があるんだね！



応接室で歴代の議長の写真を発見！



議会フロアの見学

議場をはじめ、委員会室や議長室、応接室など、議会フロアを見学します。

議席に座って議員になった気分！



議長席や演壇からは議員席がよく見えるね！



04 point 市民いこいの家

市民の交流及び高齢者の趣味活動の場として

令和6年4月から リニューアルオープン



- 利用時間は午前9時から午後6時
- 休館日は原則、日曜日と祝日及び12月29日～1月3日（予約があれば日曜・祝日利用可）

05 point 生活困窮者への支援

生活支援給付金追加支給 7万円 + 灯油購入費助成 5千円



- 基準日：令和5年12月1日
- 令和5年度の住民税が非課税の世帯が対象
- 初回振り込みは令和5年12月下旬

次のページで これら補正予算等に関する 注目の質疑をご紹介します！



02 point ふるさと納税

目標額 1.75億円 → 2.8億円



- 令和5年度のふるさと納税による寄附金の見込み額を増額

03 point エネルギー価格高騰への施設管理費の対応

約1.28億円を増額

- 学校や保育園などの施設の光熱費を増額（4,375万円）
エネルギー価格の高騰に伴い、不足が見込まれる学校や保育園などの施設の燃料費や電気料金を増額
- 指定管理施設に補填金を支給（8,386万円）
同じく、光熱費の不足が見込まれる指定管理施設にエネルギー価格高騰分を補填



補填対象の指定管理施設は46施設

10月臨時会

年4回の定例会のほかに、緊急に審議しなければならない場合に、臨時会が開催されます。

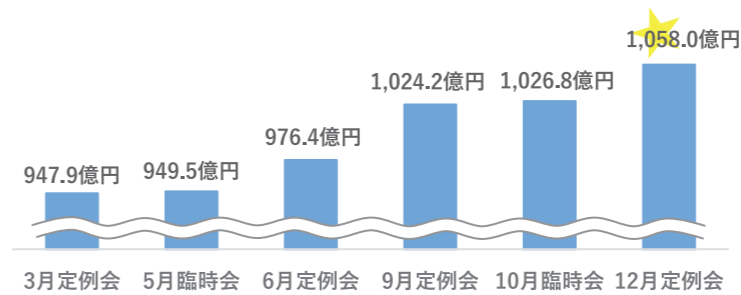
point 干ばつ災害水田復旧事業補助金 約4千万円を増額



- 今夏の少雨と高温の影響による水田の干ばつ被害の復旧を支援
- 水田の被害面積が当初の見込みを上回ったため増額



令和5年度予算額の推移



12月定例会では、今夏の猛暑による影響が大きい 農業者等に対する支援策や、エネルギー価格高騰で光熱費などに不足が見込まれる公共施設等の経費を増額する補正予算などが審査されました。

01 point 農業経営者への支援制度を創設



- 猛暑の影響で経営状況が厳しい農業者が、次年度の営農継続に向け生産意欲を保持できるよう高騰する生産資材の購入費を支援
- 市内で農業等を営む、個人事業主、農業法人、農事組合法人、兼業農家などが対象
- 物価高騰分に相当する額（令和4年の生産資材費の18%相当額等）を給付

令和5年度の補正予算などを審査する 12月定例会

3・6・9・12月に開催される定例会のうち、12月定例会の内容をお届けします。
今定例会は、主に条例の一部改正や追加の経済対策に関する補正予算を審査しました。

12月定例会の流れ

- 1 市長による議案の提案説明 12/1(金)
- 2 総括質疑 12/1(金)
議員が提案された議案に対し質疑を行う
- 3 常任委員会 12/4(月)～7(木)
総務・厚生・農政建設・文教経済の各常任委員会に分かれて審査
- 4 一般質問 12/8(金)～13(水)
議員が市政全般にわたって質問し、市の見解を聞く（関連記事10ページ）
- 5 市長による追加議案の提案説明 12/13(水)
国の物価高騰対策を受け、低所得世帯や介護施設等への支援策を追加提案
- 6 追加議案の総括質疑 12/13(水)
議員が追加された議案に対し質疑を行う
- 7 常任委員会 12/13(水)
追加議案を総務・厚生・農政建設・文教経済の各常任委員会で審査
- 8 委員長報告 12/15(金)
各常任委員会の審査結果を全員で共有
- 9 討論 12/15(金)
議案等に対して賛成か反対かを表明し、意見をたたかわす（関連記事8ページ）
- 10 採決 12/15(金)
議案等の可否を決める（関連記事9ページ）

市の **A** & 議員の **Q**
総括・委員会質疑
 身近な話題を Pick up!



移住・就業支援金

東京圏から上越市に移住し、市内の中小企業等に就業または起業される方を対象に、支援金を支給いたします。今後の申請見込みにあわせ、所要額を増額する補正予算が提案されました。

Q 申請見込み件数の増加要因は何か。

A 国による制度拡充や市独自の加算により、広く認知された。

●産業政策課／令和5年度に、国の子育て加算制度が18歳未満の子1人あたり100万円までに拡充された。さらに、住まいや仕事に関する市独自の支援が加わった。これらの制度が浸透し、申請者が年々増えているためと認識している。

農業経営継続支援事業

今夏の少雨と高温の影響により農業収入が減少し厳しい経営状況に直面している農業者等に対して、生産意欲が保持できるように、高騰する生産資材の購入に係る経費の一部を支援する補正予算が提案されました。令和4年の生産資材費の18%相当額（上限20万円）を給付するものです。

Q この支援内容で十分と考えているか。

A 営農継続に向けトータル的に支援していく。

●農政課／今回の支援策は、特に被害が大きい中山間地域の小規模農業者に手厚くなっている。平野部の大規模農業者については、国の補助金の活用や、県の研究会による栽培技術の情報提供などを通して、営農継続に向け、トータル的に支援していく。



干ばつ被害の様子

**保育園の適正配置等に
係る計画（第4期）案**

上越市第7次総合計画などの主要計画と整合を図るほか、保育園の適正配置等に向けた取り組みを進めるため、第4期計画の策定方針や具体的な取組内容などについて説明がありました。

Q これまでの公立保育園の民間移管をどう評価しているか。

A 保護者や地域から一定の理解を得られている。

●幼児保育課／保育サービスの向上などについて、保護者や地域から一定の理解を得られていると認識している。

【第4期計画における「統合・再編」の対象園】
 公立11園を3つの枠組みに整理して、統合・再編に向けた具体的な取り組みを推進する

区名	和田区	三郷区	津有区	高土区	諏訪区	柿崎区
保育園名	大和 和田	三郷	戸野目 上雲寺	高土	諏訪	柿崎第一 柿崎第二 上下浜 下黒川

**除雪機械購入費の
債務負担行為の設定**

債務負担行為とは、将来の支出について予算の限度額を設定するものです。この設定により、事業者選定の事務手続きを早期に着手できるようになります。



Q 除雪機械の購入に債務負担行為を設定した理由は。

A 早期入札、発注により受注機会の確保が図られる。

●雪対策室／年度当初に除雪ドーザーの入札を行った際、納期が間に合わないという理由で多くの辞退者が出た。メーカーによると、現在海外からの備品が順調に入ってきており、納期は8か月程度になると聞いている。債務負担行為の設定により、納期に余裕を持たせることができ、受注機会の確保が図られると考えている。

第2次上越市総合公共交通計画

市民が利用しやすく、かつ、将来的にわたって持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けて策定された計画の目標達成状況や、令和6年度以降の取組内容について説明がありました。

Q バス利用者の思いを確認することが大事では。

A 沿線地域の住民と協議をしながら進めている。

●議員／バス路線の評価に当たっては、数値だけで評価するのではなく、利用者の思いを確認することが大事だと考えるがどうか。

●交通政策課／利用者数を基に第一段階の評価を行っているが、見直しを行う前にはその数字をバックデータとして、沿線地域の住民と協議しながら進めている。



国に対し「刑事訴訟法の再審規定（再審法）」の改正を求める意見書」の提出を求める請願書

請願事項の「再審における検察手持ち証拠の全面開示、再審開始決定に対する検察の不服申立（上訴）の禁止、公正な再審手続きの整備のために、国に意見書を提出」について、審査を行いました。

賛成 現行の再審制度ではえん罪被害者の速やかな救済が妨げられている。

反対 地方議会において審議すべき範囲を超えている。

●賛成議員／現在の再審請求審における審理の在り方は裁判所の裁量に委ねられ、証拠開示の基準や手続きが明確ではなくいわゆる「再審格差」が生じている。また、再審開始決定となった場合でも、検察官の不服申し立てによりえん罪被害者を救う手立てがなくなってしまうケースもあることから、この請願趣旨に賛同する。

●反対議員／えん罪を生まないための法律は整備されていると理解している。司法に関わる重要な課題であり、専門的な知見を持たない地方議会において審議すべき範囲を超えているため、賛同できない。



公民館分館の供用廃止

吉川地区公民館の3つの分館について、利用実態や施設の老朽化の状況を踏まえて、それぞれ供用を廃止する条例の一部改正案が提出されました。

Q 地域協議会からの附帯意見にどのように対応するのか。

A 今後地域に入って皆さんと協議していく。

●議員／吉川区地域協議会からの答申では施設廃止は止むを得ないとしているが、廃止後の建物や敷地の適切な管理と、施設貸し付けや譲渡などの具体的な方策を事前提示することを求める意見が付されているが、どのように対応していくのか。

●社会教育課／地域の会館を借りて事業を行うなど、地域に向かい公民館事業を実施することを検討している。また、貸し付けや譲渡について、早めに地域住民と協議していきたい。



審 議 結 果

10月臨時会

◎：全員賛成で可決

議案等名	議決結果	議案等名	議決結果
議案第94号 令和5年度上越市一般会計補正予算(第5号)	◎	報告第6号 専決処分した事件の承認について(令和5年度上越市一般会計補正予算(専第3号))	◎

12月定例会

◎：全員賛成で可決 ○：賛成多数で可決 ×：賛成少数で否決(不採択)

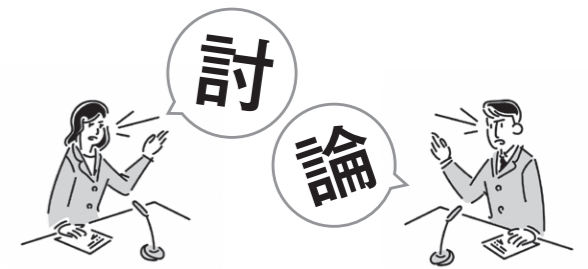
議案等名	議決結果	議案等名	議決結果
議案第95号 令和5年度上越市一般会計補正予算(第6号)	○	議案第122号 指定管理者の指定について(樽田そば処)	◎
動議 議案第95号令和5年度上越市一般会計補正予算(第6号)の組み替えを求める動議	×	議案第123号 指定管理者の指定について(くびき食彩工房)	◎
議案第96号 令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	◎	議案第124号 指定管理者の指定について(中ノ俣地区多目的研修センター)	◎
議案第97号 令和5年度診療所特別会計補正予算(第1号)	◎	議案第125号 指定管理者の指定について(岩木多目的研修センター)	◎
議案第98号 令和5年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	◎	議案第126号 指定管理者の指定について(田園多目的研修センター)	◎
議案第99号 令和5年度病院事業会計補正予算(第1号)	◎	議案第127号 指定管理者の指定について(大島生活改善センター)	◎
議案第100号 令和5年度下水道事業会計補正予算(第1号)	◎	議案第128号 指定管理者の指定について(大島旭農村環境改善センター)	◎
議案第101号 令和5年度ガス事業会計補正予算(第1号)	◎	議案第129号 指定管理者の指定について(菖蒲農村環境改善センター)	◎
議案第102号 令和5年度水道事業会計補正予算(第1号)	◎	議案第130号 指定管理者の指定について(大島若者交流会館)	◎
議案第103号 市民いこいの家条例の全部改正について	◎	議案第131号 指定管理者の指定について(くわどり市民の森)	◎
議案第104号 上越市地域協議会委員の選任に関する条例の一部改正について	◎	議案第132号 指定管理者の指定について(菖蒲高原緑地休養広場)	◎
議案第105号 上越市地域自治区の設置に関する条例の一部改正について	◎	議案第133号 指定管理者の指定について(ワークパル上越)	◎
議案第106号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	議案第134号 指定管理者の指定について(大島やまざくら)	◎
議案第107号 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	議案第135号 指定管理者の指定について(上越人材ハイスクール)	◎
議案第108号 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の一部改正について	○	議案第136号 指定管理者の指定について(上越市五智歴史の里会館)	◎
議案第109号 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	◎	議案第137号 指定管理者の指定について(高田城址公園野球場等17施設)	◎
議案第110号 上越市印鑑条例の一部改正について	◎	議案第138号 指定管理者の指定について(柿崎総合運動公園野球場等5施設)	◎
議案第111号 上越市国民健康保険条例の一部改正について	◎	議案第139号 指定管理者の指定について(上越市立オールシーズンプール)	◎
議案第112号 上越市ガス水道事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	議案第140号 新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	◎
議案第113号 上越市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	◎	議案第141号 損害賠償の額の決定及び和解について	◎
議案第114号 上越市立公民館条例の一部改正について	◎	議案第142号 令和5年度上越市一般会計補正予算(第7号)	◎
議案第115号 上越市体育施設条例の一部改正について	◎	議案第143号 令和5年度上越市一般会計補正予算(第8号)	◎
議案第116号 上越市過疎地域持続的発展計画の変更について	◎	報告第7号 専決処分した事件の承認について(令和5年度上越市一般会計補正予算(専第4号))	◎
議案第117号 字の変更について(土橋第三地区土地区画整理事業)	◎	請願第3号 若者も安心して暮らせるよう物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める請願	×
議案第118号 字の変更について(県営経営体育成基盤整備事業高野地区)	◎	請願第4号 国に対し「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」の提出を求める請願書	×
議案第119号 指定管理者の指定について(上越市大手町駐車場、上越市高田駅前立体駐輪駐車場)	◎	請願第5号 町内防犯灯(LED灯)の取り替え修復工事にかかる費用を市の負担とすることを求める請願書	×
議案第120号 指定管理者の指定について(月影の郷)	◎	諮問第7～15号 人権擁護委員候補者の推薦について	◎
議案第121号 指定管理者の指定について(雪だるま物産館)	◎	発議案第5号 上越市議会議員の選挙ポスター掲示自粛に関する決議	○

賛否が分かれた議案、私はこう判断!

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 -：議長(石田裕一)は採決に加わらない

議案	久比岐野			みらい			政新クラブ			創風			日本共産党議員団	公明党	無所属	議決結果 (賛成：反対)																			
	木南和也	安田佳世	スズキケン	橋本洋一	大島洋一	渡邊隆	飯塚義隆	江口修一	高橋浩輔	高山ゆう子	中井かおる	宮川大樹	本山人	波多野一夫	鈴木めぐみ		丸山章	小林和孝	滝沢一成	栗田英明	こたろう	小山ようこ	宮崎朋子	池田尚江	武藤正信	平良木哲也	上野公悦	橋爪法一	山田忠晴	杉田勝典	宮越馨	石田裕一			
議案第95号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(24:4)		
動議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	否決(7:22)		
議案第106号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(26:3)	
議案第107号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(26:3)	
議案第108号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(26:3)	
議案第112号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(26:3)	
請願第3号	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択(9:20)	
請願第4号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択(10:19)	
請願第5号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択(3:26)	
発議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(26:3)

討論とは、提案された議案等に対して、議員が賛成か反対かを表明するものです。討論の内容も踏まえて、採決に進みます。市長提出議案ならびに請願、動議に対して討論を行いました。



議案第95号から議案第143号までに対して



橋爪議員
日本共産党議員団

「人事院及び新潟県人事委員会の給与勧告を踏まえ、期末手当の支給割合を引き上げるもの」とし、議員報酬や特別職等の給与などに関する条例の改正案が提案された。引き上げ幅は大きくはないが、物価高騰により市民生活がひっ迫し厳しい状況が続いている中での引き上げは市民の理解を得られないと判断し、関連する5議案に反対する。

反対

請願第3号から請願第5号までに対して



宮越議員
無所属

請願第3号 年金額の削減と物価上昇で、年金で暮らしている市民生活の状況はますます深刻化している。将来、年金を受け取ることになる若者も、年金受給に不安なく安心して暮らしていけるよう、高齢基礎年金等の支給額の改善を求める声を国に届けるべきと考え、賛成する。

賛成



上野議員
日本共産党議員団

請願第3号 物価高騰の中、年金引き下げが続き、基礎年金に頼る高齢者の暮らしは厳しさを増している。物価上昇に見合う高齢基礎年金等の支給額の改善を図るよう市民の声を国に届けるべきと考え、賛成する。

請願第4号 無実の人を救うことができる再審請求と、再審公判が速やかに行われることは人権保障の観点からも必要であり、国に法律改正を求めるべきと考え、賛成する。

賛成

請願第5号 市の支援制度で進められた町内街路灯のLED化は、取り換え時期が近づき、多額の取り換え費用が町内会の負担になることが予想される。19以上の町内会長が賛同しており、賛成する。

それぞれの採決の結果は次ページをご覧ください



▼日本共産党議員団による討論
農都市条例に則し、困難に陥っている農業者を救済するために最大級の支援をすべきと考え、動議に賛成する。

提出者 宮越 馨
▼動議の概要
今夏の少雨と高温の影響で当市の米の作況指数は全国最下位となり、減収幅は10%と推計され、災害級の被害が発生している。
当市が全国で初めて制定した上越市食料・農業・農村基本条例(農都市条例)第17条では、農産物の価格の著しい変動等があった場合に必要なる施策を講ずることと定めていることから、今こそ公的救済措置を講じる必要があると考える。
今回の補正予算に農業者の収入減少支援対策事業を追加するとともに、農業経営継続支援事業の給付上限額撤廃の修正を行い、組み替えて再提出することを求める。

補正予算の組み替えを求める動議
議案第95号令和5年度上越市一般会計補正予算(第6号)に対し、予算の組み替えを求める動議が提出されました。

補正予算の組み替えを求める動議

171 一般質問の視点


一般質問とは、議員が市政全般にわたって、市長や教育長等に方針・見解・事実の説明・報告などを求めるものです。今定例会では、22人が登壇し、171の質問で論戦を繰り広げました。その中から一部抜粋して掲載します。




皆さんは、どのテーマに関心がありますか？

- 市長の公約・政治姿勢 / 市道除雪作業報償金
- 通年観光計画とスポーツツーリズム / うみがたりの損益分岐点 / 健全財政維持
- 除雪支援システムとワンオペ除雪
- 七尾城跡とのコラボ / 北陸新幹線敦賀延伸 / 単身高齢者支援 / 自転車ヘルメット
- エネルギー価格高騰支援 / 産業廃棄物最終処分場整備 / 保倉川治水対策
- 観光都市になる必要性
- 介護人材不足解消 / 包括的性教育の推進 / 障がいがある人の工賃アップ
- こども・若者の居場所づくり / 起業、創業を考える女性への支援 / 5ラウンドシステム
- 予約型コミュニティバス運行区域拡大 / 市道修繕の優先順位
- 新潟労災病院閉院に伴う地域医療再編
- 通年観光計画における春日山地域拠点施設 / 各地区戦没者遺族会への支援
- 家庭ごみ有料化の見直し / フードロス対策自動販売機の設置
- 地域自治推進プロジェクト / 議会からの政策提言
- 通年観光計画 / 副市長4人制・政策諮問委員
- 市職員のジェンダーギャップ解消
- 中学3年生のインフルエンザ予防接種助成 / 福祉マップの情報発信
- 通年観光の意義・目指す姿の共有
- 保倉川放水路の整備
- 農業を守るための国、県への働きかけ
- ふるさと納税のPR / 通年観光における防災の視点
- 学校給食アレルギー事故 / 子育て支援
- 中川市政について

二次元コードを読み取ると、その議員の一般質問の動画を視聴できます。




市長の公約と政治姿勢を問う
 こんどう 彰治(政新クラブ)




問 / 市長公約の全体的な進捗状況は。
答 / 一定の成果を上げている12項目は「実施」。部分的に実施した31項目は「一部実施又は着手済」。副市長4人制と政策諮問委員は「未着手」。
問 / 「子育て日本一を目指す」は達成判断が難しい。今後の進め方はどうか。
答 / 政策の方向性や目指す姿を示したものであり、第7次総合計画の関連施策などに必要な取り組みを織り込んだ。
問 / 地域独自の予算の補助率引下げを見直す考えは。自主財源3割を捻出できない団体もある。
答 / 制度見直しの考えはない。今後、団体意見を聞き、仕組みや運用の改善を図ることも検討。
問 / 副市長4人制・政策諮問委員の実現に向け、今後どのように取り組むのか。
答 / 今後も実現に向けた研究・検討を継続しつつ、市政運営の実績を重ね、より多くの確実な成果をあげること注力する。
問 / 議会から市長答弁に対し申入れがあったが。
答 / 真摯に受け止め、的確な答弁を心掛ける。

市道除雪作業報償金の状況は

問 / 市道除雪作業報償金の申請状況や問合せは。
答 / 12月5日時点で65団体が申請し、今後増える見込み。問合せは、「市道か私道か」や申請書の記入方法、申請期限に関するものがあつた。



通年観光計画とスポーツツーリズム
 江口 修一(久比岐野)



問 / 残り2年の任期中に具体的な施策が作れるか。
答 / 最終案は令和6年1月に示したいが、策定は令和6年度にずれ込む見込み。
問 / 13区の中山間地域や桑取地区のスポーツによる観光振興を考えているか。
答 / 多様な自然環境をいかし、可能性を考えていく。
うみがたりの損益分岐点
問 / 令和4年度決算から見てきた損益分岐点は。
答 / 入館者数は40万人、収入は4億8,200万円が分岐点となる。

健全財政維持のために

問 / 財政の硬直化が進み、財政調整基金も減り続けている状況を不安に感じる。
答 / 歳出のさらなる適正化等を推進するとともに、第3次財政計画を基本に健全財政の維持に努める。




京都水族館




くわどり謙信公トレイル



京都鉄道博物館のSL体験展示



除雪支援システムとワンオペ除雪の実証実験
 橋本 洋一(久比岐野)



問 / ICT技術を活用した除雪支援システムの実証実験とワンオペ除雪の試行の結果はどうだったか。また、本格実施の用途はどうか。
答 / 令和5年度の市道除雪作業は、105業者・834人のオペレーターが担っている。熟練した技術が求められる除雪オペレーターについては、高齢化や担い手不足が課題となっていることから、令和4年度は2台の除雪ドーザーでICT技術を活用した除雪支援システムの実証実験を行ったところであり、今後、ロータリ除雪車での実証実験を重ね、適用機種や配置路線等を検討していく。

また、運転手一人で除雪を行うワンオペ除雪についても、令和4年度に実施した交通量の少ない中山間地域での試行実施の結果を踏まえ、沿道の状況や交通量などを考慮し安全性の確保に留意しながら、実施工エリアを検討していく予定である。





春日山城と七尾城の「山城」繋がり生かせ
杉田 勝典（公明党）



問／謙信公と縁が深く、同じく山城の石川県の七尾城とコラボし、春日山城を盛り上げては。春日山城のCG画像を制作し活用してはどうか。
答／七尾城の取り組みは、春日山城の通年観光計画策定で参考にしており、将来イメージの一例に挙げたところ。CG画像は今後検討したい。

北陸新幹線敦賀延伸に向けた施策は

問／敦賀延伸を当市の観光等振興に繋げては。
答／佐渡や新潟県の西の玄関口という立地を生かし、北陸・関西からの旅行先に選ばれる地域を目指したい。旅行会社向けのモニターツアーを予定しており、その結果を踏まえ具体的な施策を講じるとともに、地域の磨き上げを図りたい。

増え続ける単身高齢者を守る支援体制の強化を

問／65歳以上の単身高齢者の実態は。また、終活を支援する取り組みを強化してはどうか。
答／高齢者人口の約2割を占める状況で、相談支援体制強化に向け、相談マニュアルを作成する。

自転車ヘルメット着用率アップで事故防止

問／ヘルメットの着用率を高めるため、購入費用の一部を助成する制度を導入してはどうか。
答／助成制度実施市町村の取り組みや、ヘルメット着用率への効果などを研究していきたい。



2040年に介護難民を出さない取り組みを
中土井 かおる（みらい）



問／2040年に県内では約四千人の介護職が不足すると言われている。デジタル化の推進で人材不足解消が見込めるとの予測があるが、デジタル化の導入が進まない小規模事業所に対して市で支援ができないか。
答／県の補助金制度の情報提供をはじめ、市としての支援も検討していく。



包括的性教育の推進を！

問／「国際セクシュアリティ教育ガイドランス」による包括的性教育は人権教育であり、「幸せ」を目指すものである。学校で行う健康教育や道徳教育、人権教育は、局所的な教育になっている。まず教員にプログラムを受講してほしい。
答／性教育は国の動向を見ながら進めていく方針である。包括的性教育を教員が学ぶ機会についても考えていきたい。

障がいのある人の工賃アップの取り組みは？

問／厚生労働省の「工賃向上ガイドブック」では厳しい経営的視点が見込まれている。民間では近年、高い工賃の施設も増えてきた。経営のコンサル等の支援が必要ではないか。
答／民間の障害者就労施設は増加傾向。市としても好事例の紹介等、支援を検討していきたい。



冬の電気代、事業者等に最大10万円支給！
宮川 大樹（みらい）



問／光熱費等が最も高くなる冬期に、エネルギー価格高騰支援をすべきと考えるがどうか。
答／国の臨時交付金を活用し、中小企業者等へ支援金を支給する。

産業廃棄物最終処分場整備に向けた市の対応は

問／候補地である柿崎区竹鼻地区と下中山地区で地元住民説明会が開かれたが市の対応は。
答／市職員を事業主体の県や事業団に派遣し、市民に寄り添い整備に向けて協力支援していく。

保倉川治水対策の取り組み

問／保倉川放水路のルートが国から示されたが、市の所見と今後の対応はどうか。
答／放水路沿川地域のまちづくりの検討を進め、地域との合意形成を最優先に、一刻も早い保倉川放水路の事業化に向けて取り組んでいく。
問／保倉川の水位上昇に伴い、下五貫野の農業用取水堰で土砂堆積が生じた事案への対応は。
答／河川管理者の県に要望したところ、土砂の堆積量を見極め治水上の緊急性を検討し、必要に応じて土砂の撤去を行うとの回答があった。

問／水位上昇が頻繁に発生する事を踏まえ、常時、適切な管理を行うべきと考えるがどうか。
答／流域治水の考えで、ソフト・ハード面ともに対応を徹底していく。



子ども・若者の視点に立った居場所づくり
ストラットン恵美子（久比岐野）



問／学校や家以外のオープンアクセスの施設「ユースセンター」は、子どもの自己肯定感や自己有用感を高めWell-beingを満たす効果も期待できる。当市も導入してはどうか。
答／直江津学びの交流館や春日謙信交流館、オーレンプラザなどは、中高生が仲間と集い、学習や交流に利用している。また24時間対応の電話相談「子どもほっとライン」など、心の居場所の体制も整えており、導入は考えていない。

上越市で輝く女性たちを応援したい！

問／起業、創業を考える女性のための、子育て等家庭環境に即した支援拠点を作るべきでは。
答／令和5年度に女性起業家創出事業を開始し、情報発信や相談窓口を開設した。起業相談を行う施設は、スタートアップ拠点としての活用も図られており、提案の支援拠点設置は考えていない。

コミュニケーションでできる英語教育のすすめ

問／英語の学習指導方法「5ラウンドシステム」を当市でも取り入れてはどうか。
答／効果的な指導方法の一つとして、授業改善の視点とするなど、子どものコミュニケーションを図る資質・能力の育成に努めていく。
※ユースセンターとは、中高生の家庭でも学校でもない第三の居場所として、近年全国に広まっている。
※5ラウンドシステムとは、一年間に教科書を5回繰り返す英語指導方法



そもそも観光都市になる必要はあるのか
滝沢 一成（政新クラブ）



問／そもそもなぜ上越市は観光都市になる必要があるのか。
答／当市を観光都市にする事や、観光を基幹産業とする事を目指してはいない。歴史・文化や自然や食など、地域固有の資源の価値に気付いていない市民も多い。観光という手法で、これらを付加価値の高い観光資源として継承したい。

問／「観光都市を目指さない」発言に驚いた。「地域固有の価値に市民は気付いていない」のであれば、観光だけを手段とすることはないので。
答／観てもらう事が、継承されてきたものを残す一つの手段となる。観光に携わる事業者が増え、若者が定着することも必要だ。

問／歴史・文化や自然というどのまちでも言える言葉ではなく、上越市だけが持つ存在意義を計画に示すべきではないか。
答／例えば雪だと思う。そうした今あるものを生かす外からの視点が必要だ。

問／上越でないと観られない・できない体験がないと選べないのでは。当市の存在意義を示す観光基本計画を策定したうえで実施計画策定という段階を踏むべき。「外からの視点が必要」と外にこだわる必要があるのか。内ではだめなのか。
答／外の人が発見できないものがある。内の人でも外の視点で魅力を発見できるなら良い。

問／外にこだわるのが理解できない。



予約型バスを拡大し、格安で運行を
本山 正人（みらい）



問／安塚区と牧区で運行している予約型バスの運賃は一律200円だが、運行区域を広げ、近隣の区への運賃も格安にできないか。
答／中山間地域の市民の利用しやすい移動手段として、令和6年4月に浦川原区と大島区に導入する。さらに、令和7年度は板倉区、令和8年度は名立区、令和9年度は吉川区と金谷区への導入を計画している。1乗車200円で、隣接する区を乗り継ぐ場合は400円となる予定である。



市道の修繕整備の優先順位と費用は？

問／地域の要望で舗装道路の欠損箇所を通報してもなかなか修繕してもらえない。優先順位はどのように設定しているのか。
答／委託業者や職員が定期的に巡回し、緊急性の高い損傷は速やかに修繕している。大規模な修繕は、通学路やバス路線の指定有無など優先評価項目により評価を行い、評価結果に基づき計画的に修繕している。

問／多雪地域では、重い除雪機械が頻繁に通行するため損傷も多い。春先の排雪費用の一部を修復費用に充てられないか。
答／排雪作業の費用は国の補助金を活用しており、道路修復への使用は補助金の目的外利用となるため困難である。



医師を増やして
地域医療の再生を
上野 公悦(日本共産党議員団)



問／新潟労災病院の閉院に地域住民は大きな不安を抱いている。こうした声をしっかりと聴くことなしに令和5年12月4日に、他病院での受け入れなども含めた具体的な機能再編案が示された。住民へもつと説明が必要だったのではないかと。答／要望があれば、説明会を開くことができたが、そういう声はなかった。

問／広大な市域において、示された医療再編構想で地域医療がしっかり守られるのか。特定の病院に医師や医療機能が集中した場合、大雪や災害時の緊急の医療に配慮されないことが懸念される。交通弱者や高齢者から医療が遠くなる。

答／医療を守るのは病院の数だけではないが、指摘されたことも起こりうる。しっかりとしたバックアップ体制で地域医療を守っていく。

問／今回示された再編案は、受け入れ側も施設面・スタッフ面で大きな課題がある。上越総合病院では、新潟労災病院で行ってきた年間千件を超える手術の受け入れは現状では無理があると話しており、口腔外科を受け入れる上越地域医療センター病院も不安を口にしている。県立柿崎病院などでもスタッフ不足が課題であり、医師不足の上、病床数も増やさず、現状での機能再編はさらなる地域医療の瓦解を招くと考える。

答／医療構想会議では、関係する医療機関と、とにかく前向きに受け入れようと協議している。



地域自治推進プロジェクトの進捗は？
栗田 英明(政新クラブ)



問／地域自治推進プロジェクトでは、「地域のことは地域で決め、実行する仕組み作り」に向け検討を行い、令和6年度から実施するとしている。地域協議会委員の改選が令和6年4月に実施されるが、それまでにまとめるのか。

答／地域協議会の役割の整理は令和6年度以降にまとめる。令和6年の委員改選はこれまでどおりに行い、任期中は現在と同じ役割となる。

問／地域独自の予算事業は、プロジェクトの取り組み全体が明確になる前に開始され、拙速の感が否めない。課題も多いと思うが、令和5年度の総括と次年度に向けた改善点を聞きたい。

答／令和4年度で廃止した地域活動支援事業を活用してきた公益性のある取り組みの継続や運用上の課題に留意しながら、地域自治の活動を活性化する予算として制度化したもの。令和5年度終了後に総括し、今後の運用に反映するが、令和6年度事業については見直しをしない。

議会の政策提言は最重要事項ではないか

問／議会の機能として、行政に関する監視だけでなく、政策立案・提言も重要である。二元代表制のもと、市民の代表である議会からの政策提言は、最優先に取り扱べきではないか。

答／限られた財源や人的資源を勘案する中で、最大限尊重し、市政運営に反映させていく。



春日山地域拠点施設の
立地位置熟考を！
高橋 浩輔(みらい)



問／春日山地域の新たな拠点施設について、立地位置や内容等、どのように考えているか。

答／立地場所は埋蔵文化財センター周辺とし、機能は物産、飲食、ガイダンス、観光案内、駐車場とすることを考えている。

問／春日山地域の冬期間の観光の構想は。

答／冬期間は積雪のため、散策道の歩行が制限されるが、謙信公ゆかりの神社仏閣のほか、謙信公も見た春日山の雪景色に加え、新たに整備する拠点施設などにより魅力の向上を図る。

問／そうであれば拠点施設の立地位置は、春日山ゲートボール場付近が適地だと考える。春日山城跡の山容をよく見通すことができる場所なので、訪れる人々に四季折々の春日山の景観を提供できる。埋蔵文化財センター周辺ではそれができないので、検討すべきと考える。

答／史跡指定地内であるので、現状では難しい。

戦没者遺族会の課題にどう寄り添うか？

問／各地区の遺族会の解散が相次いでおり、これに伴い顕在化してくる課題への市の対応は。

答／遺族会が担ってきた慰霊碑や忠魂碑の管理、各地域で行われている追悼法要が行われなくなるなどの課題を聞いている。連合遺族会や上越市社会福祉協議会の意見を聞きながら、可能な支援の在り方を検討していく。



通年観光計画、果たして
通年観光に導けるか
丸山 章(政新クラブ)



問／直江津・高田の地域ごとの各施策の優先順位や、春日山地域の6つのエリアの優先エリア及び、浄興寺大門通りの道路、電柱等の景観整備における7年間の具体的スケジュールを聞きたい。

答／事業費や春日山地域の周年記念行事予定などを勘案し検討を進めており、令和6年1月の通年・広域観光推進特別委員会提示する。

問／空き古民家・町家の活用に当たり、愛媛県大洲市の取り組みを参考にしているようだが、当市における城下町の歴史的街並みの保全に、大洲市の事例が当てはまるのか。上越バージョンはどのような体制・取り組みになるのか。

答／大洲市の事例が、そのまま市に当てはまるものではない。複数の団体の連携を深化し、地域を一体的にマネジメントする組織が必要と考えられており、地域の企業や市民団体と意見交換を重ね、今後の方向性を見出していきたい。

副市長4人制・政策諮問委員、なぜ未着手？

問／令和3年12月定例会において、副市長4人制の導入は否決され、政策諮問委員の設置は委員会です否決相当とされた後、市長が取り下げた。公約の進捗状況をなぜ未着手としたのか。

答／議会をはじめ、市民からの様々な意見を聴く中で、現時点で具体的な提案に至っておらず進捗していないと判断し、未着手とした。



家庭ごみの有料化と
指定ごみ袋の見直しは
鈴木 めぐみ(政新クラブ)



問／家庭ごみの有料化と、指定ごみ袋にバイオマス素材を含む袋を採用したことによる課題は。

答／有料化の課題は、ごみの不法投棄や不適正排出の増加である。また、バイオマス素材ごみ袋採用の課題は、通常の袋と比較し製造単価が高価になることと、製造業者が少なく価格や性能面における競争原理が働かないことが挙げられる。

問／バイオマス素材ごみ袋の導入理由と目的は。

答／地球温暖化防止等の観点から、経費は増加するが、焼却時の二酸化炭素発生量の抑制効果があるバイオマスプラスチック素材を採用した。

問／レジ袋の代わりとして、市指定ごみ袋を1枚単位で試験的に販売できないか。

答／袋の仕様と販売店舗の負担に課題があるため、現時点で実施する考えはないが、引き続き、情報収集に努め、研究していく。



公の施設のフードロス対策自動販売機の設置

問／フードロス対策自動販売機の設置状況は。

答／市施設に設置の自動販売機は事業者が設置しているもので、契約更新の機会にフードロス対策型の設置を働きかけているが、現時点で設置された事例はない。市では、食品ロス削減の推進のため、今後「食品ロス削減推進計画」を策定し、市民への普及・啓発を進めていく。



ジェンダーギャップ
解消を
平良木 哲也(日本共産党議員団)



問／市職員の性別平均給与の実態はどうか。また、格差是正のためどう対応するか。

答／正規・非正規を合わせた職員全体では、女性の給与は男性の68・3％。女性職員の係長級以上への積極的な登用や、男性職員の育児休業の取得促進など、女性職員がその能力を十分に発揮し、活躍できる環境整備に気を配っていく。

問／給与額に大きな差が生じているのは、女性が多い会計年度任用職員の給与が極端に低く、生計を立てることが難しい額だからではないか。

答／会計年度任用職員の給与は、正規職員の初任給ベースで設定している。その条件で募集を行い、採用している。

問／採用後毎年昇給し、雇用年限がないのであればよいが、そうではないことが問題。男女で差はないとのことだが、出産については配慮が必要だ。出産・育児休業等の取得で勤務を中断した分の配慮はあるか。

答／育児休業を取得しても、その間働いていたものとして調整している。

問／女性は、実態として家事育児の大部分を担うことが多いが、決して正しいことでない。職員に対して、ジェンダーの視点から家庭内での家事育児の分担に関する研修は行っているか。

答／男女の格差に特化した形の職員研修は実施していない。



**中学3年生のインフル
エンザ予防接種助成を**

山田 忠晴（公明党）



問／令和5年は、インフルエンザの流行により学級閉鎖等となる学校があり、特に高校受験を控える中学3年生の保護者は不安を感じている。安全で安心して子育てができる環境づくりを一層推進するため、中学3年生の接種に対して費用の一部を助成し、子育て世代の負担軽減に取り組みべきと考えるがどうか。

答／インフルエンザの予防接種は希望者に接種が行われる任意接種であり、対象者が限定されるため、現時点で接種に対する費用助成を行う考えはない。



福祉マップの情報発信

問／障がい者や高齢者が外出や旅行等をする際、障がい者等の利用に配慮した施設等が分かりやすく記載された福祉マップの活用が広がっている。県ホームページに掲載されている「にいがたバリアフリーガイドブック」では、県内の公共施設等のバリアフリー情報を調べることができる。当市ではどう情報発信しているか。

答／市ホームページの「人にやさしい施設紹介」のページに、県ホームページへの外部リンクを設置し、市民への周知を図ってきた。このたび、福祉関係のページにも外部リンクを設置し、さらなる情報発信に努めている。



**市の農業を守るために
国、県に働きかけを**



問／農業は大激動だ。国では、「人・農地プランから地域計画へ」と取り組んでいる。市長はこの政策について、上越市食料・農業・農村基本条例の観点から、どのような基本姿勢で臨むのか。

答／基本条例の理念を念頭に置きながら、地域との話し合いを通じて、それぞれの地域の実態に即した計画となることを基本姿勢として取り組んでいきたい。

問／令和5年度版の統計情報を見てショックを受けた。農業経営体数は激減し、その中で後継者を確保できているのは2割だ。全国市長会は令和4年に、「地域計画策定を一律に義務付けることは、現場に大きな混乱をもたらす。地方分権改革の取り組みにも沿わないため反対」という趣旨の意見書を公表している。基本条例では市の責務として、「国及び県に対して施策の提言を積極的に行うように努めるものとする」とある。国や県にどう働きかけをしているか。

答／米の価格を安定させるために、米以外の自給率の低いものに転換する制度の法制化などを要望している。



**通年観光の意義や
目指す姿を共有すべき！**



問／通年観光計画による効果の見込みは。

答／観光消費額を倍増させることが目標。民間ビジネスや観光サービスが創出され、歴史・文化遺産が継承されることを目指す。若者や女性が希望する多様な雇用の創出や、市民の愛着・誇りの醸成など、多面的な効果が期待できる。

問／計画では、観光に取り組む意義を地域課題の解決としている。その意義や目指す姿を、市民や地域とより一層共有していくことが必要ではないか。

答／市民との対話集会などの中で、地域で活動する団体や住民の意見を聴き、私自身が考えを伝えてきた。今後はパブリックコメントで広く市民の意見を募集するほか、広報上越などで丁寧に説明していきたい。

問／観光地域づくりに資する取り組みについて、地域から地域独自の予算事業として提案があった場合、市が全額を支出し、地域と一体となって取り組んではどうか。

答／現状は団体が主体となる取り組みが9割を超えている。取組内容の精査及び提案団体等との協議により、市として実施すべきと判断したものは、市が実施主体となって直営又は業務委託等で実施するケースもある。取り組みの意向がある場合、まずは総合事務所やまちづくりセンターに相談してほしい。



**ふるさと納税のPR、
その方向性は？**



問／令和5年度ふるさと納税の寄附額の見込みは2億8千万円。近年は、民間事業者等による積極的なPR活動も行われているが、市も包括的に連携すべきではないか。

答／上越商工会議所青年部において、応援ソングを制作し周知活動を展開いただいております。市では、補助金の交付により活動を後押しし、都内や越後・謙信SAKEまつりの場でのPRを連携して実施した。引き続き、ふるさと納税の拡充に向け、商工業団体等の意欲的な活動や、返礼品づくりに取り組む事業者、農業者の方々との連携強化を図り、多様な産品をはじめ、地域全体の魅力を発信していきたい。

通年観光には防災の視点も必要ではないか

問／災害被害経験がある地域や、著名な観光地では、観光マップへの避難所の掲載や、日常的に防災アナウンスなどを行っているところもある。通年観光を目指す上では、こうした防災の視点も必要と考えるがどうか。

答／災害や有事の際の防災情報等の伝達体制は、市民や来訪者に関わらず整備しており、平時のアナウンス等は考えていないが、観光客が多い施設での初動時における市民等による声かけなど、サポートも重要と考える。その点も念頭におき、観光における防災の視点も検討していきたい。



**保倉川放水路
整備ルート示される**



問／関川流域委員会において、「関川水系河川整備計画の変更骨子（案）」について、どのような審議がなされたのか。

答／令和5年3月に関川水系河川整備基本方針が変更されたことを踏まえ、河川整備計画の変更を進めている。令和5年7月には河川整備計画の変更骨子案が示され、保倉川放水路の目標流量が毎秒900tに増加したことから、国に対し地域住民への丁寧な説明を求めたところである。また、令和5年10月の治水対策検討部会では、目標流量を安全に流下させるための複数の治水対策案を比較・評価し、科学的、技術的、経済的な妥当性が確認されたところである。

問／今後の保倉川放水路整備の進め方は。

答／令和5年12月8日の関川流域委員会、放水路の幅やルートを含む河川整備計画の変更原案が公表された。今後



保倉川放水路ルート
(高田河川国道事務所提供資料)

関係住民から意見を募集し、それらの意見を踏まえ変更案が作成・審議される予定。

問／放水路開削後の津波対策は。

答／最大クラスとされるL2津波では、国道8号南側の一部で浸水がありうる。市ではハザードマップ作製等の対策の検討や、国に対して総合的な津波対策の確実な実行を働きかけていく。



**給食アレルギー事故を
防ぐために！**



問／前年度に続き、令和5年9月に学校給食でアレルギー事故が発生した。原因は栄養教諭等の人的ミスというが再発防止の取り組みは。

答／再発防止に向けて、全小中学校の栄養教諭や調理員に事故防止研修を実施したほか、学校教職員を対象に緊急時対応の研修を実施し、適切な対応を迅速に取れるよう理解を深めた。

問／1人で最大4校を兼務する栄養教諭がいるが問題はないのか。調理員との連携はできているのか。また、市民に対する情報公開の在り方は。

答／栄養教諭の兼務校や調理員との連携については今後検証を行うとともに、国や県に栄養教諭の増員を要望していきたい。情報公開については個人への配慮をいっつつ、公開を原則とする考えのもと、公表基準の見直しを行う。食物アレルギー事故は命に関わることを認識し、安全・安心な給食の提供に全力で取り組んでいく。

本当に必要な子育て支援を！



問／市調査によると実母による乳幼児の虐待リスクが高く、紙オムツの無償定期配達による買い物支援や保護者の見守り支援が効果的だと考える。検討してはどうか。

答／令和5年2月から実施の出産・子育て応援事業は、日用品購入や医療機関受診時の交通費等にも充てられるため現時点では考えていない。

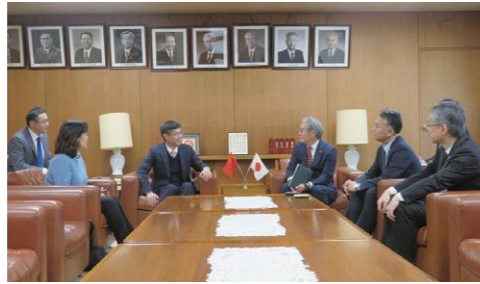
Topic!

中華人民共和国駐新潟総領事が上越市議会を表敬訪問されました

12月19日㊤、中華人民共和国駐新潟総領事館の崔為磊総領事サイイライが上越市議会を表敬訪問されました。石田議長ならびに渡邊副議長、小田副市長と姉妹・友好都市の琿春市等との交流などに関して意見交換を行い、両国の友好を確認しました。



（左から）小田副市長、康副総領事、石田議長、崔総領事、渡邊副議長



崔総領事と石田議長が和やかに懇談



崔総領事から記念品をいただきました



中川市政は死に体。直ちに辞職すべし！
宮越 馨（無所属）



問／今夏の異常高温対策として、全国で一番厳しいコメの作況指数も全国で最悪の93%（不作）に陥った農家に減収補てんをすべきではないか。同じ地域でJA管内も同じ妙高市では行い、上越市では行わないのは差別だ。おかしい。

答／高騰する農業生産資材費に対し18%相当、上限額20万円を支給し、小規模農業者を中心に支援する対策を講じるため問題ない。

問／高田地区の狭隘道路に私が考案した「加温式消雪パイプ」を積極的に整備すべきだ。

答／加温式消雪パイプは有効であるが、安定した水源の問題があり困難だ。

問／新潟労災病院については、国の労働者健康安全機構から移譲を受け、市が継続運営すべきである。

答／新潟労災病院の機能を全て地域内の他の医療機関に移行することで、市民が安心して受診できる医療提供体制の維持につながる。

問／中川市政2年を振り返り、市長には「分かっている者がなるべき」だった。「市長になりたかっただけではだめ」だった。議会答弁は聞くに堪えない。また、リーダーシップのない市政は停滞するばかりだ。失言も多く市民をリスpekトしない市長は直ちに辞すべきだ。

答／与えられた任期の中で職務を全うすべく誠心誠意取り組んでいく。

ご意見を聴く会と議員と気軽にトーク@こどもセンターを開催



11/9㊤ ご意見を聴く会（板倉区）



11/10㊤ ご意見を聴く会（安塚区）



11/12㊤ 議員と気軽にトーク@こどもセンター

- 11月に議会報告会・意見交換会を開催しました。
- 板倉区と安塚区の2会場で開催した「ご意見を聴く会」では、議員定数に関することや地域の課題をはじめ、市政全般にわたってご意見をお聴きしました。
- オーレンプラザこどもセンターで開催した「議員と気軽にトーク@こどもセンター」では、子育て世代の皆さんから育児に関する困りごとなどをお聴きしました。

各会場での意見など詳しくはこちら



お聴きしたご意見の一部を紹介

- ・ 地域協議会委員の役割が中途半端だと感じる。制度を再検討してほしい。
- ・ 消防団員は日中不在のことが多いので、消防団員以外でも消火栓を使用できるようにしてほしい。
- ・ 高校生の通学時間帯に、駅と学校を巡回するバスを運行してはどうか。
- ・ コロナ禍で仲間づくりの機会が減った。子育て世帯が集まって仲間づくりができる場所や機会を作してほしい。

議員定数のご意見を聴く会を開催



12/17㊤ レインボーセンター



12/17㊤ 福祉交流プラザ



12/18㊤ 名立地区公民館

議員定数の変遷についてはこちら



議員定数の変遷についてはこちら



- 令和5年8月に設置した上越市議会議員定数検討会議では、市内3会場でご意見を聴く会を開催しました。
- 今後、お聴きしたご意見をもとに議論を深め、3月までに議長に答申する予定です。

お聴きしたご意見の一部を紹介

- ・ 市の人口は減っている。人口規模に合わせて見直すべき。
- ・ 議員の役割は大きい。人数を減らすことに反対する。
- ・ 一人ひとりの議員がしっかりと仕事をしてくれば、現在の32人のままで良い。
- ・ 市域が広いので、地域の多様な声を行政に届けるためには定数を増やしても良い。

編集後記

11月の「議員と気軽にトーク」は、初めてオーレンプラザこどもセンターで開催しました。当日は小さなお子さん連れのパパやママから参加いただき、課題と感じていることやあったらいいなどと思うことなどを聴くことができました。

お近くで開催の際にはぜひご参加いただき、皆さまの声をお聴かせください。

広報広聴委員会 鈴木 めぐみ

次号は、令和6年4月25日発行です。

次の定例会は

令和6年 2月28日(水)～

総括質疑	2月28日(水)	～	29日(木)
委員会	3月1日(金)	～	12日(火)
一般質問	3月14日(木)	～	19日(火)
採決	3月22日(金)		

※日程が変更となる場合は、ホームページ等でお知らせします。



ホーム
ページ



本会議
動画配信



委員会
動画配信



Facebook